

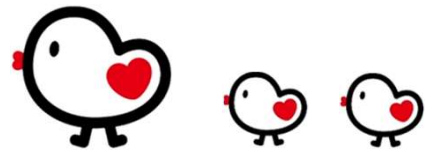
愛知県中央信用組合 本店

2階 会議室

にて、献血を実施します！



9月2日（金）



受付時間：

10：00 ～ 11：30

13：00 ～ 16：30

（受付状況によりお昼の休憩時間が変動することがあります。）

献血WEB会員サービス 「ラブラッド」

会員登録とご予約をお願いします！




～献血に参加する前に～

- 献血前日は4時間以上の睡眠をお願いします。
- 献血当日の朝食、昼食は普段通りおとりください。
- 献血カード又は献血手帳をお持ちの方はご持参ください。
- 服用したお薬のお名前をご確認ください。

降圧剤・高脂血症治療薬・抗痛風薬 → 献血できます！



| 内服薬について | 献血をご遠慮いただく場合は |
|---|---|
| <p>当日服用可</p> <p>降圧薬 痛風・高尿酸血症治療薬 去痰剤 胃腸薬 低容量ピル 抗アレルギー薬(ステロイド系以外) サプリメント・漢方薬・栄養剤 高脂血症治療薬・コレステロールを下げる薬(錠剤のみ)・下剤 など</p> <p>前日まで服用可</p> <p>かぜ薬(市販薬) 解熱鎮痛消炎剤(痛み止め、熱さまし) 睡眠薬・抗不安薬 など</p> <p>服用後3日間献血不可</p> <p>抗生物質(抗真菌剤・抗ウイルス薬) 抗精神薬(抗うつ剤) など</p> | <p>• 今までに輸血(自己血を除く)や臓器移植を受けた方</p> <p>• 3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方</p> <p>• 4週間以内に海外から帰国(入国)した方</p> <p>• 1ヶ月以内にピアスの穴をあけた方</p> <p>• エイズ検査が目的の方</p> <p>• 献血当日の体調不良や擦り傷による出血がある方 など</p> <div style="text-align: right;">  <p>詳しくはこちら</p> </div> |

上記以外にも患者さんや献血される方の安全を確保するため、検診医の判断により献血をご遠慮いただくことがあります。ご了承ください。



血液は長期保存ができません。継続的な献血へのご協力をお願いします。
当日献血いただいた血液から得られる赤血球製剤の有効期間は採血後21日間になります。

400mL 献血について

一人ひとりの血液は、たとえ同じ血液型でも微妙に異なるため、輸血を受ける患者さんにとって、なるべく少人数の献血者の血液を使用する方が**副作用発生のリスク軽減**につながります。

現在、県内の医療機関からは97%以上が400mL献血による輸血用血液の要請となっています。

皆さまには、輸血リスクの少ない400mL献血にご協力をいただきますようお願いいたします。

献血者への検査結果通知について

1. 検査の結果異常を認めた場合通知する項目：希望者に通知いたします。
B型、C型肝炎、HTLV-I、梅毒
2. 検査サービス：希望者に通知
生化学検査、血液型（ABO、Rh式）、血球計数検査

生化学検査

| 検査項目 | 標準値 | 説明 |
|----------------------|----------------|--|
| ALT (GPT) | 5-45 IU/L | 肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝細胞が破壊されると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も強く上昇し、慢性肝炎や脂肪肝(肥満)などでも上昇します。激しい運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。 |
| γ-GTP | 10-65 IU/L | 肝、胆道、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する疾患は閉塞性黄疸、肝炎、アルコール性肝障害などです。病気がなくても長期飲酒者では上昇することが多く、1ヵ月位禁酒するとある程度正常化します。 |
| 総蛋白 TP | 6.5-8.2 g/dL | 血清中には80種類以上の蛋白が含まれ、種々の機能を持ち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。 |
| アルブミン ALB | 3.9-5.0 g/dL | 血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病気などで栄養が悪くなると減少するため、健康診断のスクリーニングとして大きな意味があります。 |
| アルブミン対 グロブリン比 A/G | 1.2-2.0 | 血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にありますが、病気によってはその比率が変化(主として減少)してきます。 |
| コレステロール CHOL | 110-250 mg/dL | 血清脂質の一つで、一般に脂肪の多い食事を続けていると上昇します。また肝臓などで作られ、肝、胆道、腎、甲状腺の病気などでその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を起しやすいとされています。 |
| グリコアルブミン GA | 酵素法 16.5%未満 | 糖尿病の検査の一つです。過去約2週間の血糖値が低い状態が続いていると低下し、高い状態が続いていると上昇します。糖尿病では標準値より上昇します。標準値範囲内でも15.6%以上の場合は注意が必要です。 |

血球計数検査

| 検査項目 | 結果 標準値 | 説明 | |
|------------------------|--|--|------------------------|
| 赤血球数 RBC | (M 425-570) (F 375-500) × 10 ⁴ / μL | 赤血球は血液の主な細胞成分で、酸素を肺から各組織へ運ぶ働きを持っています。 | 貧血の有無を知る目安となります。 |
| ヘモグロビン量 Hb | (M 13.3-17.4) (F 11.2-14.9) g/dL | 血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビン(血色素)によるもので、赤血球の働きの中心となっています。 | |
| ヘマトクリット値 Ht | (M 39.0-50.4) (F 34.0-44.0) % | ヘマトクリット値は一定の血液量に対する赤血球の割合(容積)をパーセントで表したものです。 | |
| 平均赤血球容積 MCV | 80.0-100.0 fL | 赤血球1個の平均的容積、すなわち赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とヘマトクリット値から算出したものです。 | 貧血の場合、その種類の判定の目安となります。 |
| 平均赤血球ヘモグロ ビン量 MCH | 26.0-34.0 pg | 赤血球1個に含まれるヘモグロビン量を平均的に表したもので、赤血球数とヘモグロビン量から算出したものです。 | |
| 平均赤血球ヘモグロ ビン濃度 MCHC | 32.0-36.0 % | 赤血球の一定容積に対するヘモグロビン量の比をパーセントで表したもので、ヘモグロビン量とヘマトクリット値から算出したものです。 | |
| 白血球数 WBC | 3500-10000 / μL | 白血球は細菌などを食食し、免疫情報を伝達し、さらに免疫能を発現して生体防御にかかわっています。細菌感染症があると一般に白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。 | |
| 血小板数 PLT | 14.0-38.0 × 10 ⁴ / μL | 血小板は出血を止めるための重要な働きを持ち、この値が極端に減少すると出血を起しやすくなります。 | |

緊急事態宣言下でも献血は必要です

**献血のご協力は、
不要不急の外出にはあたりません。**

「緊急事態宣言」の発令下においても、他に代わるもののない輸血医療に使用される
輸血用血液を日々安定的に患者さんへお届けする必要があります。
現況をご理解いただき、皆様の温かいご協力を心よりお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大する現在でも、
毎日約 14,000 人の
献血協力が必要です。

尊い命を救うために、
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

愛知県赤十字血液センター

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

災害から人間を救うのは、人間。

医療で人間を救うのも、人間。

今日もどこかで、誰かが誰かを救っています。

明日は、あなたが誰かを救うことになるかもしれません。

輸血用血液の有効期限

血小板：**4日** 赤血球：**21日**

輸血用血液は長期保存できません

人工的につくることもできません

継続的な献血へのご協力をお願いします

愛知県赤十字血液センター

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています。】

- ✦ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています。】

- ✦ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ✦ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ✦ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- ✦ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ✦ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

《皆様へのお願い》

- ✦ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ✦ 入口にて体温測定を実施しています。
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)
- ✦ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

※介助者等付き添いの方もお願いします。

新型コロナウイルス感染の拡大下でも、毎日約 14,000 人の方からの献血のご協力が必要です。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症について

1. 新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。
2. 一般的に、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性も最も高くなると考えられています。しかし、新型コロナウイルスでは、発症の2日前から発症後7～10日間程度他の人に感染させる可能性があると考えられています。特に、発症の直前・直後でウイルス排出量が高くなるため、無症状病原体保有者（症状はないが検査が陽性だった者）からも、感染する可能性があります。
3. 感染を予防するためには、人と人との距離をとること（Social distancing: 社会的距離）、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家やオフィスの換気を十分にする、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりとすることで、自己のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要です。

※厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A」より抜粋

献血会場での安全対策

◎感染者や感染の疑いのある方の献血会場への入場をお断りしています。

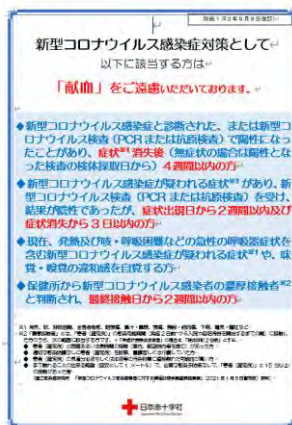
- ①入口での注意喚起（写真①）
- ②体温測定（写真②）
- ③手指消毒（写真③）
- ④お願いパンフレット（写真④）

◎会場入口での手指消毒を徹底し、接触感染を予防します。

（入口の他にも要所に消毒液を設置しています。）

◎必ず、マスクの着用をお願いしています。

◎献血にご協力いただく方には、健康状態を正確にお答えいただくなど責任ある献血をお願いしています。



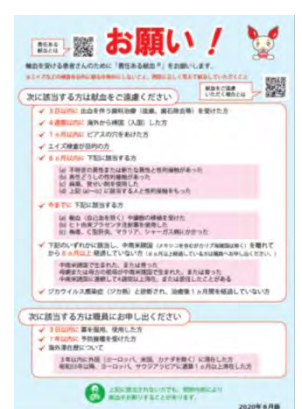
写真①



写真②



写真③



写真④

新型コロナウイルス感染症対策として

以下に該当する方は

「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）で陽性になったことがあり、**症状^{※1}消失後**（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）**4週間以内の方**
- ◆ 新型コロナウイルス感染症が疑われる**症状^{※1}**があり、新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）を受け、結果が陰性であったが、**症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方**
- ◆ 現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる**症状^{※1}**や、味覚・嗅覚の違和感を自覚する方
- ◆ 保健所から新型コロナウイルス感染者の**濃厚接触者^{※2}**と判断され、**最終接触日から2週間以内の方**

※1 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

※2 「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間（発症2日前*から入院や自宅待機を開始するまでの間）に接触した方のうち、次の範囲に該当する方です。*「無症状病原体保有者」の場合は、「検体採取2日前」とする。

- 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった方
- 適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた方
- 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方
- 手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者

（国立感染症研究所 「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」（2021年1月8日暫定版）参照）

新型コロナウイルス感染症予防のため

お願い

◆はじめに、**体温測定**をお願いします

発熱が確認された方については、入場をご遠慮いただいています。

◆必ず、**手指消毒**をお願いします

◆必ず、**マスクの着用**をお願いします

マスクをお持ちでない方は職員へお申し出ください。

皆様のご理解とご協力をお願いします



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新型コロナウイルス ワクチン接種に関するお願い

接種したワクチンの種類により、
献血をご遠慮いただく期間が異なります。

| ワクチンの種類 | 接種後以下の期間は 献血をご遠慮下さい |
|-----------------------------------|------------------------|
| mRNA ワクチン (ファイザー社製・ モデルナ社製) | <u>48 時間以内</u> |
| ウイルスベクターワクチン (アストラゼネカ社製) | <u>6 週間以内</u> |

※上記以外のワクチンについては、現時点では献血をご遠慮いただいております。

ワクチンを接種されたことがある方は、献血受付時に職員にお申し出ください。

新型コロナウイルスワクチンに関する詳しい情報は下記アドレスをご確認ください。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

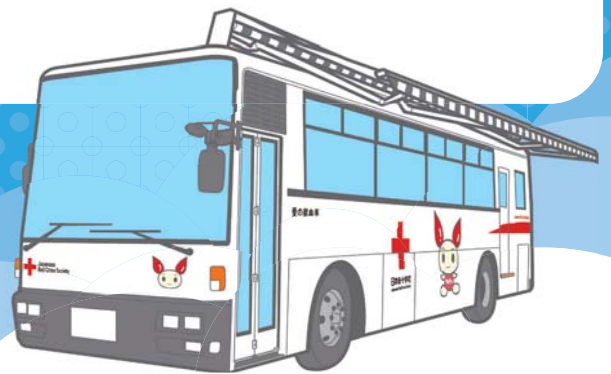
(厚生労働省 HP：「新型コロナウイルスワクチン Q&A」)

車内換気

について

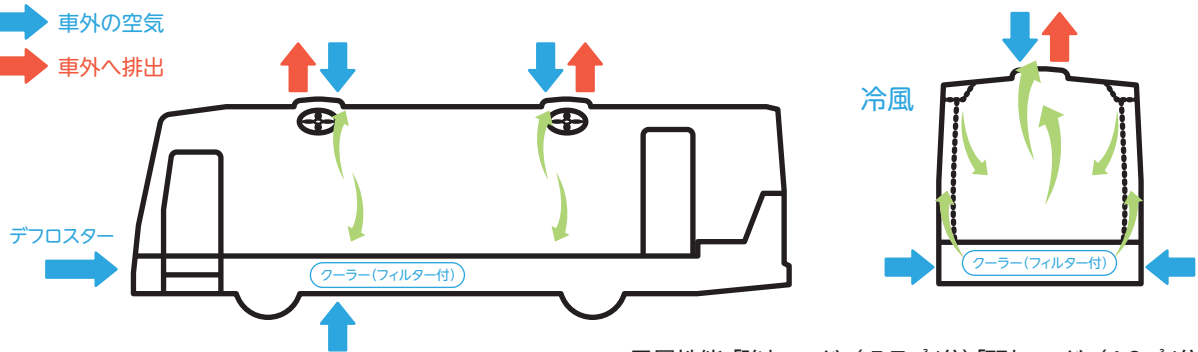
移動採血車では
**常時、車内空気の
入替を行っています**

[車内換気扇による空気排出]



移動採血車 車内空調イメージ図

➡ 車外の空気
➡ 車外へ排出



風量性能「強」モード:(5.7m³/分)「弱」モード:(4.2m³/分)